

## 道徳科学習指導案

- 1 学級 第2学年1組 男子13名 女子12名 計25名
- 2 主題名 「ともだちをしんじる」B 友情, 信頼
- 3 ねらい たけちゃんの気持ちや行動について考えることを通して, 自分にも過ちを改めたいと願う心や, 友達のよさが分かるとさらに仲よくなりたいと願う心があることに気づき, さらに友達関係を深めていこうとする心情を育てる。
- 4 教材名 「なかよしで いたい」
- 5 主題設定の理由

### ○主題観

友達とけんかをするのはだれにでもある。そしてまた, けんかを悔い, 仲直りをしたいと願う心もだれしもがもっている。それは, 自分を振り返り, 過ちを認め謝りたい, 友達と仲よくすごしたいといった, 人間が生まれながらにしてもつ和を求める心の表れである。また, 互いの長所を出し合い, 相手の気持ちや立場を察して行動することで, 助け合い, 支え合うことができるのが友達のすばらしさである。このような関係が長い時間, 継続されていくことにより, 信頼関係が深まっていく。

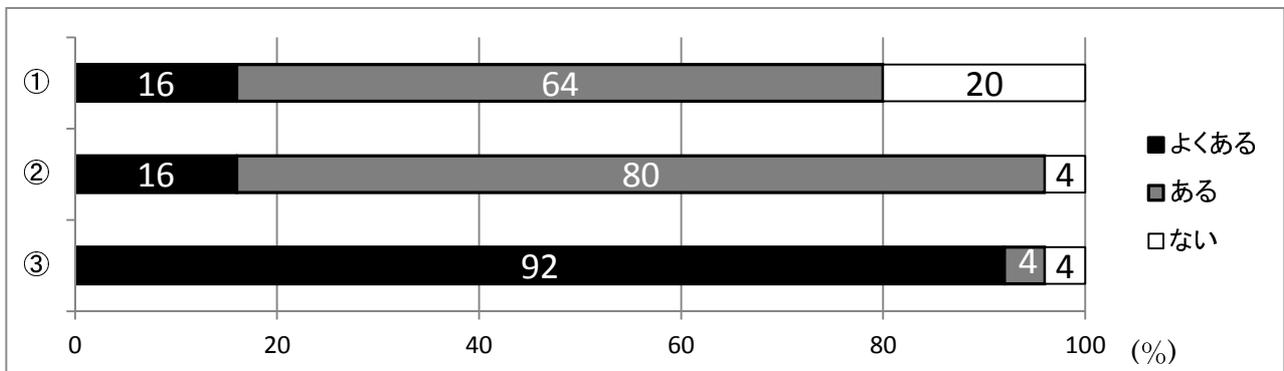
### ○児童観

本学級の児童は, 遊びや学習を通して友達関係を広げたり, 深めたりしているが, 自己中心的な見方や考え方から友達とけんかすることも多い。友達関係についてどのように考えているか次のようなアンケートをとった。

#### 【アンケート項目】

①	友だちとけんかをしたことがありますか。
②	なかなかおしいけど, なかなかできないことがありますか。
③	なかよしの友だちをふやしたいと思ったことがありますか。

#### 【アンケート結果】



アンケートでは, ほとんどの児童がけんかをしたことがあるとこたえ, 半数以上の児童が, 仲直りしたいがなかなかできなかった経験をもっている。一方で, ほとんどすべての児童が, 仲よしの友達を増やしたいとも思っている。

2年生になると、相手の気持ちや立場を理解し、自分の言動を振り返ることで過ちを認めて反省することができる。反省する自分を自覚し、次に生かそうとすることで、友達とともに過ごす心地よさや、友達関係が深まることの喜びを感じるようになる。これらを繰り返すことで、「友達ともっと仲よくなりしたい」、「大切な友達を失いたくない」と願う心をさらに高めさせたい。

○指導観

本教材は、仲よしの友達とけんかしてしまったたけちゃんが、自分の行動を振り返って反省し、母親との会話から、「しょうちゃんと仲直りをしたい、もっと仲よくなりしたい」と願う心がわき上がる姿が描かれている。身近に起こりうる出来事なので、自分の経験と重ねながら、主人公に共感したり、主人公の気持ちを考えたりしやすい。そして、「友達と仲よくすごしたい」、「もっと仲よくなりしたい」と願う心は自分にもあることを自覚し、今後の生活に生かしていこうという思いを高めることができる。

指導に当たっては、たけちゃんの初めと終わりの表情や涙を比較し、その違いを考えさせることでねらいに迫る。また、友情が深まる具体的な事例を通して、友達がいることのすばらしさに感動し、自分もそうありたいという心を高めさせたい。

本教材に含まれていると考える道徳的価値は、次のとおりである。

- 【この教材に含まれる道徳的価値】**
- ◆ 人間には生まれながらに和を求める心がある。
  - ◆ 相手の気持ちや立場を察して行動することで、助け合い、支え合うことができるのが友達のすばらしさである。
  - ◆ 友情が長い時間継続されていくことで、信頼関係が深まっていく。

道徳的判断力を育成する場面としては、中心発問「たけちゃんがしょうちゃんに謝りにいこうと思ったのはなぜですか」を設定した。ここで過ちを認めて素直に謝りたいと願い、友達のよさが分かるとさらに仲よしでいたいと願うたけちゃんの心に共感させ、けんかをしても仲よしでいるためにはどうすればよいのか考えさせたい。

さらに今回4つの教材を「仲よく」をテーマに一つのユニットとし、それぞれの教材を重ねていくことでテーマを強く意識させていく。

**【ユニットとの関連】** ユニットテーマ「仲よく」

	教材名	内容項目・主題名	ユニットとの関連
第1時	やさい村のこどもたち	C 公正, 公平, 社会正義 「すききらいにとらわれないで」	やさいたちの迷いを通して、だれとでも仲よくするために大切なことを話し合う。
第2時	くつつかくし	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 「いけないことをみつけよう」	してはいけないこととはどのようなことか生活の中で見つけ、善悪の判断ができる生活をしようという気持ちをもたせる。
第3時 (本時)	なかよしでいたい	B 友情, 信頼 「ともだちをしんじる」	友達と仲よしでいたいと願う心を大切にして、さらに友達関係を深めていこうとする気持ちをもたせる。
第4時	のこぎり山の 大ぶつ	C 公正, 公平, 社会正義 「開発に願いをこめて」	一人一人を大切にして生活していこうとする気持ちをもたせる。

## 6 他の教育活動などとの関わり

小学校 第1学年及び第2学年 B 友情, 信頼  
友達と仲よくし, 助け合うこと。

### 道徳

- ・10月「ともだちをしんじる」 11月「のこぎり山の大ぶつ」

### 国語

- ・11月「みんなのたからもの」

### 算数

- ・11月「100cmをこえる長さ」

### 生活

- ・11月「町の人たちとなかよくなろう」

### 体育

- ・11月「ボール投げゲーム」

### 学校行事

- ・11月「学習発表会」

小学校 第3学年及び第4学年 B 友情, 信頼  
友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。

小学校 第5学年及び第6学年 B 友情, 信頼  
友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。

中学校 B 友情, 信頼  
友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

7 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○基本発問 ◎中心発問 ●補助発問)	○指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 友だちとけんかしたときのことを思い出す。	○けんかするとどんな気持ちになりますか。すぐに仲なおりができますか。 ・けんかをすると気持ちがもやもやする。 ・仲なおりたいけど、なかなか「ごめんね」が言えない。	○けんかをするとなかなか謝ることができない気持ちがあることを明らかにする ○主人公がすぐに謝りにいこうとしたのはなぜかという観点を持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">課題</div> なかなかおるとき 大切なことは何だろう。			
展開	2 教材「なかよしでいたい」を読み、友情、信頼について考える。 (1)あつしのよいところを話し合う。 (2)たけちゃんのなみだについて話し合う。	●たけちゃんのはじめのなみだとおわりのなみだには、どんな思いがこめられているでしょう？ ・はじめのなみだは、たけちゃんが自分のしたことをはんせいしたなみだ。本当は仲よしでいたい。 ・後のなみだは、お母さんの話を聞いて、しょうちゃんが自分のことを大切に思ってくれていることが分かってうれしかった。 ◎たけちゃんがしょうちゃんにあやまりに行こうと思ったのはなぜでしょう？【ユニットノート①】 ・自分がいけないことをしてしまったからあやまりたい。自分がまちがっていたことをみとめてあやまったたけちゃんはえらい。 ・しょうちゃんは大切な友だちだとわかった。 ・大切な友だちをなくしたくないから、すぐにあやまりに行けた。	○初めと終わりの涙には違いがあることに気付かせる。 ○初めの涙には友達を失った悲しみや自分の行動を振り返り後悔が表れていることを明らかにする。 ○もやもやの中身を考えさせる。 ○終わりの涙には友達が自分のことを大切にしてくれていることがわかり、喜びが表れていることを明らかにする。 ○過ちを認めて素直に謝りたいと願う心と、友達のよさが分かることさらに仲よしでいたいと願う心を児童の言葉でまとめる。 ☆友達のよさが分かること、さらに仲よくなりたいたいと願う心があることを理解できたか。

